

結果について

1 結果の概要

(1) 人口総数が増減したメッシュ数

第1表は、平成12年の人口総数が平成2年と比べて増加、増減なし、減少したメッシュ数を示す。

大阪府(全地域)では、2,512メッシュで増加し、2,402メッシュで減少した。これは、平成12年又は平成2年に人口が存在する4,933メッシュのうち、50.9%のメッシュで増加し、48.7%のメッシュで減少したことを示している。残り19メッシュ(0.4%)は増減がなかったメッシュである。

第1表 1メッシュ内人口総数増減別 メッシュ数

	人口が減少 したメッシュ	人口増減なし のメッシュ	人口が増加 したメッシュ	合計
大阪府(全地域)	2,402 (48.7%)	19 (0.4%)	2,512 (50.9%)	4,933
大阪市地域	473 (54.9%)	3 (0.3%)	385 (44.7%)	861
三島地域	347 (50.6%)	4 (0.6%)	335 (48.8%)	686
豊能地域	272 (53.6%)	3 (0.6%)	232 (45.8%)	507
北河内地域	274 (43.3%)	2 (0.3%)	357 (56.4%)	633
中河内地域	236 (51.1%)	3 (0.6%)	223 (48.3%)	462
南河内地域	329 (46.0%)	1 (0.1%)	385 (53.8%)	715
泉北地域	377 (50.3%)	2 (0.3%)	371 (49.5%)	750
泉南地域	278 (40.2%)	2 (0.3%)	411 (59.5%)	691

()内は、人口が存在するメッシュ数に対する割合を示しています。

(2) 世帯数が増減したメッシュ数

第2表は、平成12年の世帯数が平成2年と比べて増加、増減なし、減少したメッシュ数を示す。

大阪府(全地域)では、3,639メッシュで増加し、1,215メッシュで減少した。これは、平成12年又は平成2年に世帯が存在する4,933メッシュのうち、73.8%のメッシュで増加し、24.6%のメッシュで減少したことを示している。残り79メッシュ(1.6%)は増減がなかったメッシュである。

第2表 1メッシュ内世帯数増減別 メッシュ数

	世帯が減少 したメッシュ	世帯増減なし のメッシュ	世帯が増加 したメッシュ	合計
大阪府(全地域)	1,215 (24.6%)	79 (1.6%)	3,639 (73.8%)	4,933
大阪市地域	220 (25.6%)	7 (0.8%)	634 (73.6%)	861
三島地域	170 (24.8%)	9 (1.3%)	507 (73.9%)	686
豊能地域	156 (30.8%)	20 (3.9%)	331 (65.3%)	507
北河内地域	128 (20.2%)	5 (0.8%)	500 (79.0%)	633
中河内地域	102 (22.1%)	5 (1.1%)	355 (76.8%)	462
南河内地域	167 (23.4%)	10 (1.4%)	538 (75.2%)	715
泉北地域	195 (26.0%)	11 (1.5%)	544 (72.5%)	750
泉南地域	171 (24.7%)	15 (2.2%)	505 (73.1%)	691

()内は、世帯が存在するメッシュ数に対する割合を示しています。

(3) 人口総数の増減と世帯数の増減の関係

第1図は、増加したメッシュの割合と減少したメッシュの割合の差でみた人口総数と世帯数の関係を示す。

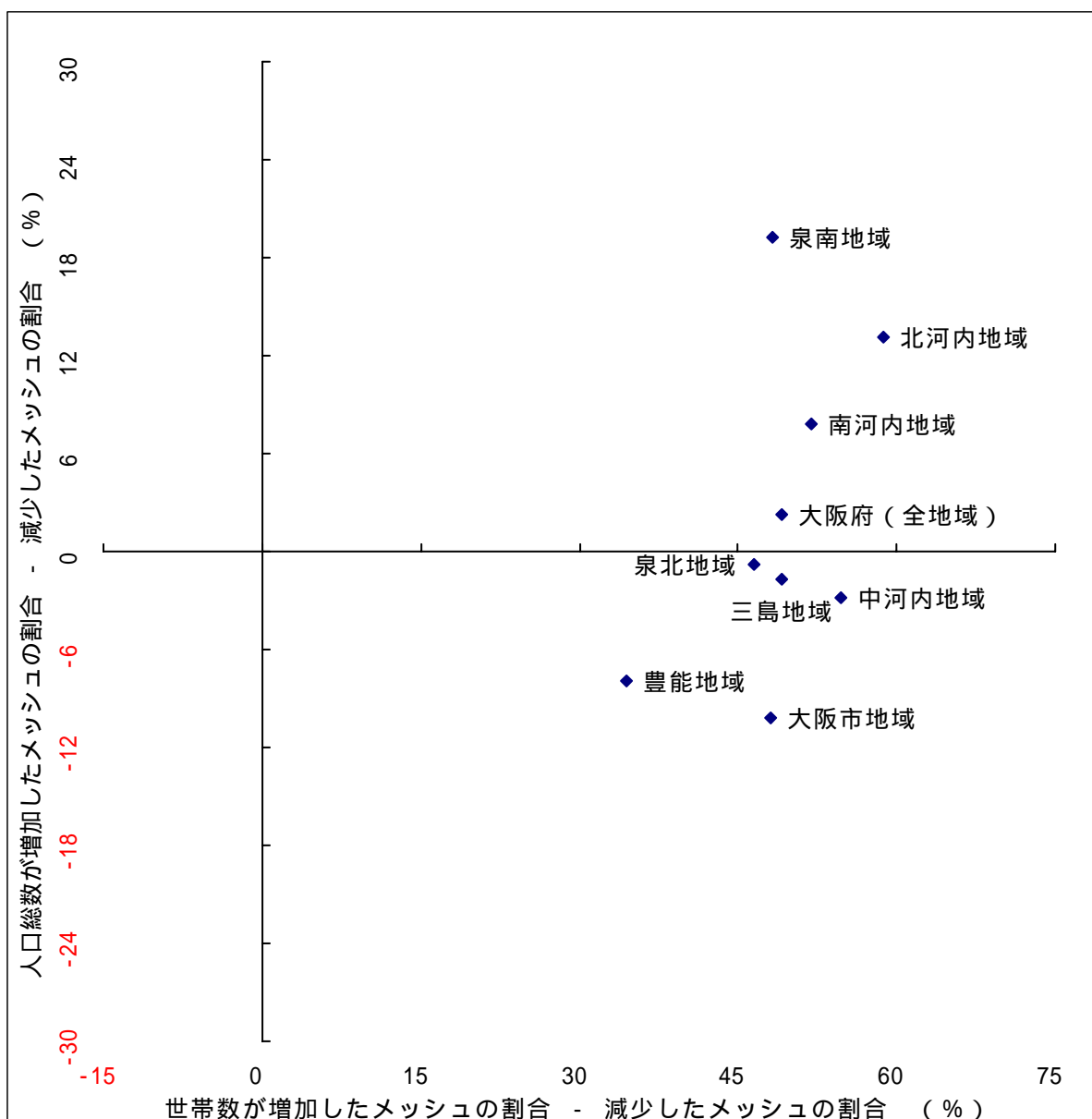
人口総数をみると、上側にある地域は、増加したメッシュが減少したメッシュを上回っており、下側にある地域は、減少したメッシュが増加したメッシュを上回ることを示す。

世帯数は全地域が右側にあり、全地域で増加したメッシュが減少したメッシュを上回ることを示す。

大阪府（全地域）は、人口総数、世帯数共に増加したメッシュが上回っている。

地域別では、世帯数は全地域で増加したメッシュが大きく上回っているが、人口総数は5地域で減少したメッシュが上回り、増加したメッシュが上回ったのは3地域である。なお、最も上部に位置するのは泉南地域、最も下部に位置するのは大阪市地域、最も右部に位置するのは北河内地域、最も左部に位置するのは豊能地域である。

第1図 増加したメッシュの割合と減少したメッシュの割合の差でみる人口総数と世帯数の関係



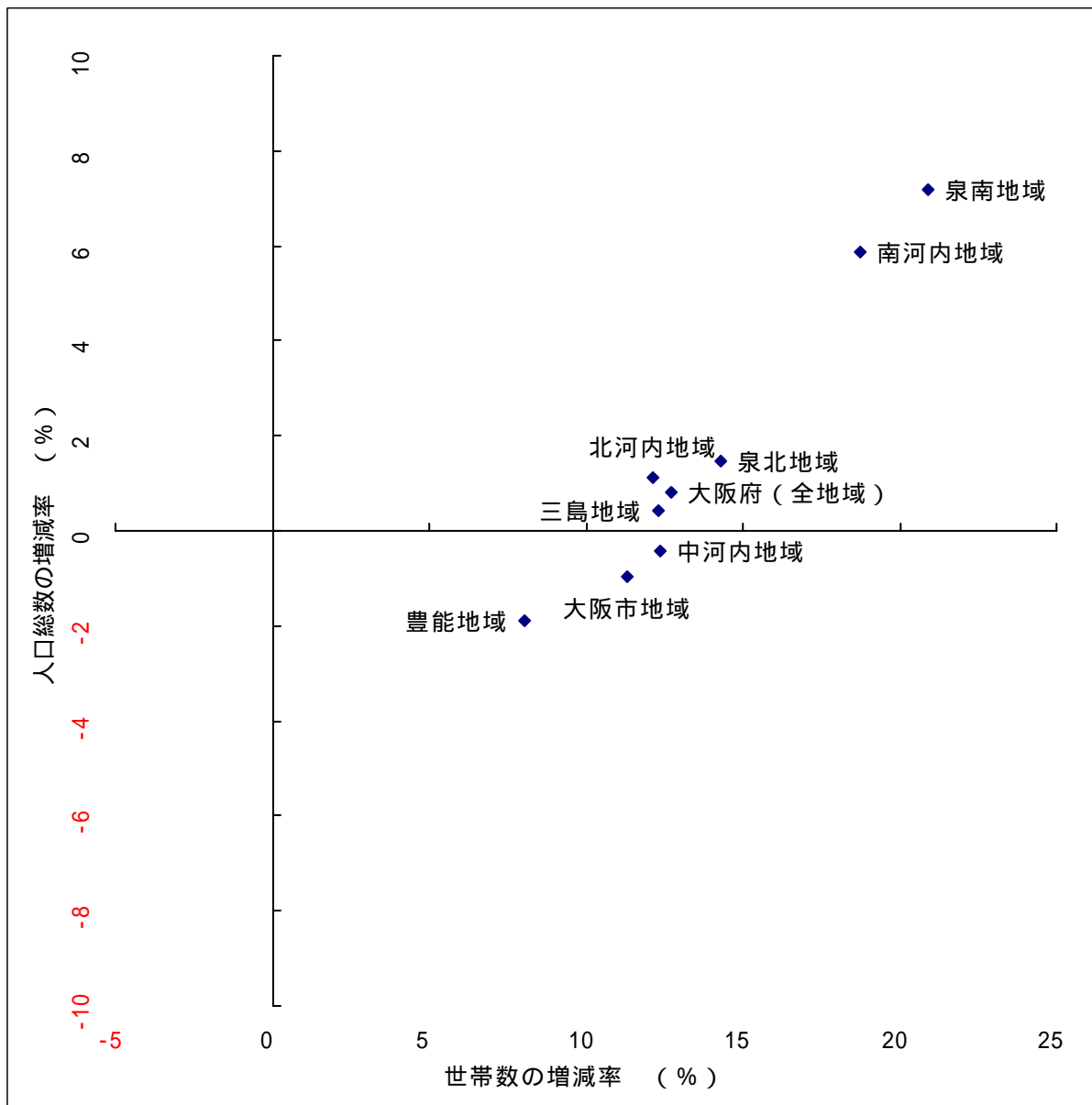
なお、地域メッシュ視点と実数視点では、増減の動きが異なる場合がある点に注意を要する。

第2図は、実数視点での増減の動きをみるため、人口総数増減率と世帯数増減率の関係を示した参考図である。

第2図を第1図（前頁）と併せてみると、三島地域及び泉北地域の人口総数は、第1図によると、増加したメッシュは減少したメッシュを下回るが、第2図によると、実数は増加している。これは1メッシュあたりの人口増加の平均が、人口減少の平均よりも一定以上高いことに起因している。

また、任意の地域を比較することにより、人口総数、世帯数の動きの傾向をよみとることができる。例として、泉北地域を大阪府（全地域）と比較すると、地域メッシュ視点では泉北地域は大阪府（全地域）の左下に位置するが、実数視点では右上に位置する。これは大阪府（全地域）に比べ、泉北地域は人口及び世帯の集中化が激しいことを示している。

第2図（参考図） 実数の増減率でみる人口総数と世帯数の関係



2 人口総数（世帯数）区分別の構成と推移

(1) 平成12年のメッシュ数と人口総数

第3表は、平成12年における、大阪府内各メッシュの人口総数を「0人より多く1,000人未満」「1,000人以上2,000人未満」「2,000人以上4,000人未満」「4,000人以上6,000人未満」「6,000人以上」の5区分に分け、各区分のメッシュ数及び人口総数をまとめたものである。

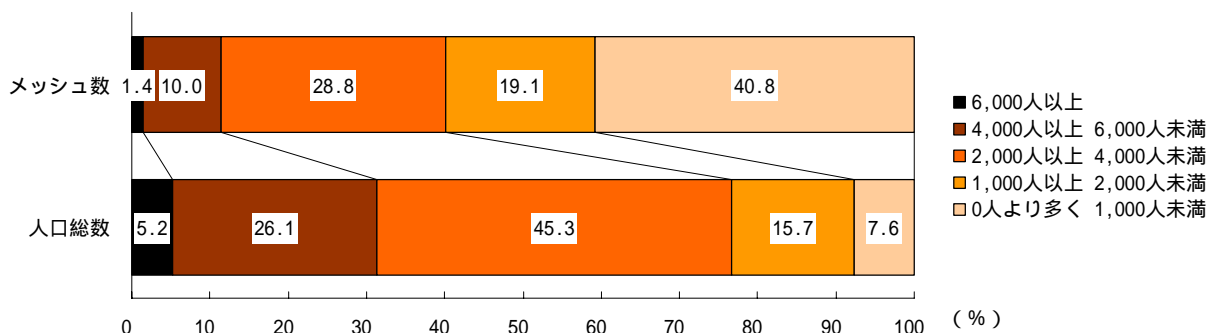
第3図は、第3表より、メッシュ数と人口総数の区分構成を図示したものである。

人口が存在するメッシュ数は4,824であり、このうち、人口総数が1,000人以上であるメッシュは2,858であり、当該地域の人口合計は約814万人となっている。これは、人口が存在するメッシュのうちの約6割に人口の9割以上が居住していることを示している。

人口の合計が最も多い区分は「2,000人以上4,000人未満」区分であり、人口が存在するメッシュのうちの約29%で約45%の人口を占めている。

人口の合計が最も少ない区分は「6,000人以上」区分であり、人口が存在するメッシュのうちの1.4%で5.2%の人口を占めている。なお、「0人より多く1,000人未満」区分は40.8%のメッシュで7.6%の人口であり、人口密度の差がうかがえる。

第3図 1メッシュ内人口総数区分別 平成12年の大阪府（全地域）のメッシュ数及び人口総数の構成



第3表 1メッシュ内人口総数区分別 平成12年の大阪府（全地域）のメッシュ数及び人口総数

1メッシュ内人口総数	メッシュ数等		人口総数等	
	メッシュ数	累積数	人口総数(人)	累積数(人)
6,000以上	68 (1.4%)	68 (1.4%)	456,966 (5.2%)	456,966 (5.2%)
4,000以上 6,000未満	482 (10.0%)	550 (11.4%)	2,300,771 (26.1%)	2,757,737 (31.3%)
2,000以上 4,000未満	1,389 (28.8%)	1,939 (40.2%)	3,991,576 (45.3%)	6,749,313 (76.7%)
1,000以上 2,000未満	919 (19.1%)	2,858 (59.2%)	1,386,676 (15.7%)	8,135,989 (92.4%)
0より多く 1,000未満	1,966 (40.8%)	4,824 (100.0%)	669,092 (7.6%)	8,805,081 (100.0%)
合計	4,824 (100.0%)		8,805,081 (100.0%)	

()内は、人口が存在するメッシュ数に対する割合を示しています。

(2) 平成12年のメッシュ数と世帯数

第4表は、平成12年における、大阪府内各メッシュの世帯数を「0世帯より多く100世帯未満」「100世帯以上500世帯未満」「500世帯以上1,000世帯未満」「1,000世帯以上2,500世帯未満」「2,500世帯以上」の5区分に分け、各区分のメッシュ数及び世帯数をまとめたものである。

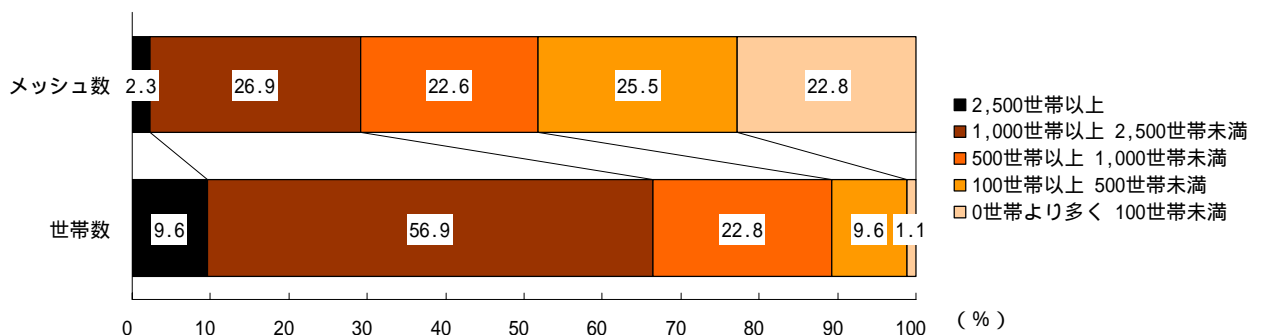
第4図は、第4表より、メッシュ数と世帯数の区分構成を図示したものである。

世帯が存在するメッシュ数は4,824であり、このうち、世帯数が500世帯以上であるメッシュは2,498であり、当該地域の世帯数合計は約311万世帯となっている。これは、世帯が存在するメッシュのうちの約5割に世帯の約9割が存在していることを示している。

世帯の合計が最も多い区分は「1,000世帯以上2,500世帯未満」区分であり、世帯が存在するメッシュのうちの約27%で約57%の世帯を占めている。

世帯の合計が最も少ない区分は「0世帯より多く100世帯未満」区分であり、世帯が存在するメッシュのうちの22.8%で1.1%の世帯である。なお、「2,500世帯以上」区分は2.3%のメッシュで9.6%の世帯を占めており、世帯密度の差がうかがえる。

第4図 1メッシュ内世帯数区分別 平成12年の大阪府(全地域)のメッシュ数及び世帯数の構成



第4表 1メッシュ内世帯数区分別 平成12年の大阪府(全地域)のメッシュ数及び世帯数

1メッシュ内世帯数	メッシュ数等		世帯数等	
	メッシュ数	累積数	世帯数(人)	累積数(人)
2,500以上	110 (2.3%)	110 (2.3%)	333,171 (9.6%)	333,171 (9.6%)
1,000以上 2,500未満	1,300 (26.9%)	1,410 (29.2%)	1,984,277 (56.9%)	2,317,448 (66.5%)
500以上 1,000未満	1,088 (22.6%)	2,498 (51.8%)	795,935 (22.8%)	3,113,383 (89.3%)
100以上 500未満	1,228 (25.5%)	3,726 (77.2%)	335,373 (9.6%)	3,448,756 (98.9%)
0より多く 100未満	1,098 (22.8%)	4,824 (100.0%)	37,154 (1.1%)	3,485,910 (100.0%)
合計	4,824 (100.0%)		3,485,910 (100.0%)	

()内は、世帯が存在するメッシュ数に対する割合を示しています。

(3) メッシュ数の推移：人口総数

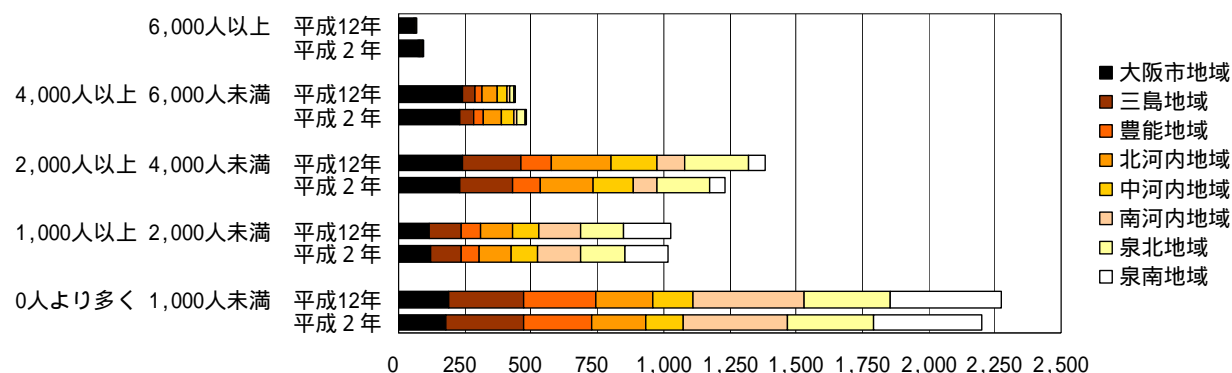
第5表（現頁及び次頁）は、平成12年及び平成2年における、大阪府内各メッシュの人口総数を5区分に分け、各区分のメッシュ数を地域ごとにまとめたものである。

第5図は各区分における地域構成の推移を、第6図は大阪府（全地域）の区分構成の推移を、第7図は各地域の区分構成の推移を、それぞれ第5表より図示したものである。

大阪府（全地域）のメッシュ数をみると、4,000人未満の区分で増加し、4,000人以上の区分で減少している。しかし、人口が存在するメッシュ数に対する割合では、「2,000人以上 4,000人未満」区分のみ増加しており、その他の区分は減少している。これは、人口が存在するメッシュ数が平成2年より増加したことに起因する。

各地域の人口が存在するメッシュ数に対する割合をみると、「0人より多く 1,000人未満」区分では南河内地域等の5地域で増加し、三島地域等の3地域で減少している。「1,000人以上 2,000人未満」区分では泉南地域等の3地域で増加し、南河内地域等の5地域で減少している。「2,000人以上 4,000人未満」区分では全地域で増加している。「4,000人以上 6,000人未満」区分では大阪市地域が増加、その他の地域では減少となっている。「6,000人以上」区分では全地域が低下又は該当メッシュなしである。三島地域、泉北地域は平成2年は該当メッシュが存在したが、平成12年は該当メッシュなしになっている。

第5図 1メッシュ内人口総数区分別 各地域のメッシュ数の推移

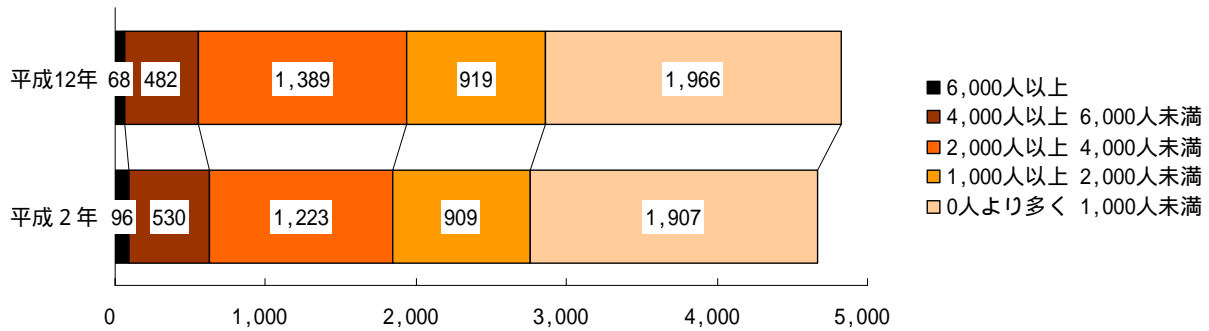


第5表 1メッシュ内人口総数区分別 メッシュ数 (次頁へ続く)

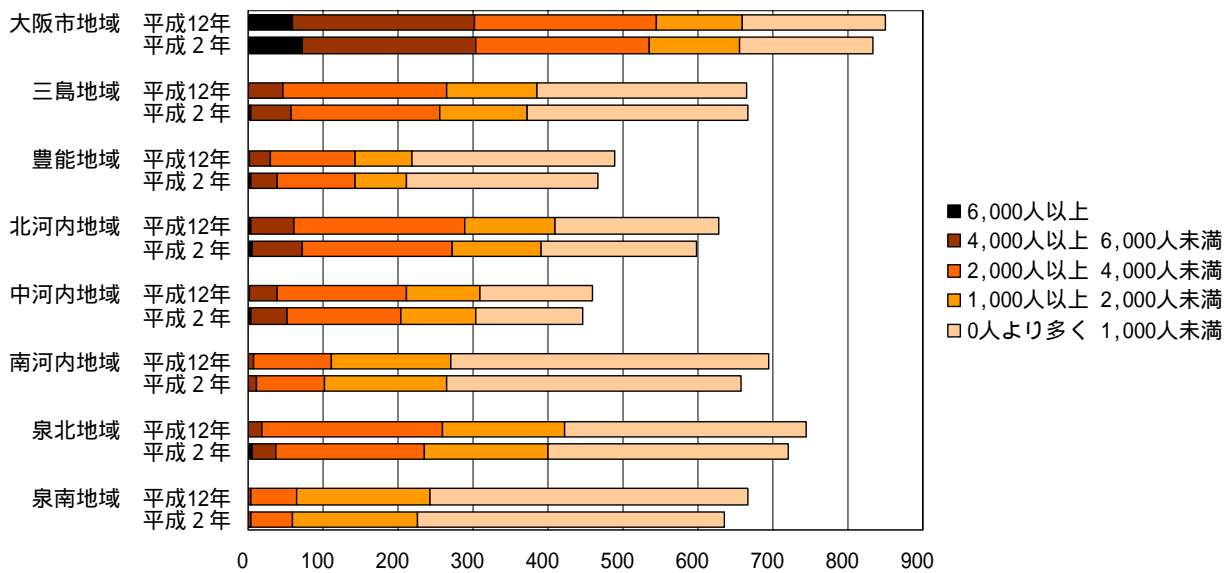
	0人より多く 1,000人未満		1,000人以上 2,000人未満	
	平成12年	平成2年	平成12年	平成2年
大阪府（全地域）	1,966 (40.8%)	1,907 (40.9%)	919 (19.1%)	909 (19.5%)
大阪市地域	191 (22.5%)	178 (21.3%)	115 (13.5%)	120 (14.4%)
三島地域	280 (42.1%)	294 (44.1%)	120 (18.0%)	116 (17.4%)
豊能地域	271 (55.4%)	254 (54.5%)	76 (15.5%)	70 (15.0%)
北河内地域	218 (34.8%)	208 (34.7%)	120 (19.1%)	118 (19.7%)
中河内地域	149 (32.5%)	142 (31.8%)	98 (21.4%)	101 (22.6%)
南河内地域	424 (61.1%)	393 (59.8%)	158 (22.8%)	163 (24.8%)
泉北地域	321 (43.1%)	321 (44.5%)	164 (22.0%)	164 (22.7%)
泉南地域	423 (63.5%)	411 (64.6%)	178 (26.7%)	165 (25.9%)

()内は、人口が存在するメッシュ数に対する割合を示しています。

第6図 大阪府（全地域）の1メッシュ内人口総数区分のメッシュ数の推移



第7図 地域別 1メッシュ内人口総数区分のメッシュ数の推移



(前頁から続く)

2,000人以上 4,000人未満		4,000人以上 6,000人未満		6,000人以上	
平成12年	平成2年	平成12年	平成2年	平成12年	平成2年
1,389 (28.8%)	1,223 (26.2%)	482 (10.0%)	530 (11.4%)	68 (1.4%)	96 (2.1%)
243 (28.6%)	232 (27.8%)	241 (28.4%)	231 (27.7%)	60 (7.1%)	73 (8.8%)
218 (32.8%)	199 (29.9%)	47 (7.1%)	53 (8.0%)	0 (0.0%)	4 (0.6%)
113 (23.1%)	104 (22.3%)	27 (5.5%)	35 (7.5%)	2 (0.4%)	3 (0.6%)
228 (36.4%)	200 (33.4%)	58 (9.3%)	68 (11.4%)	3 (0.5%)	5 (0.8%)
173 (37.7%)	151 (33.9%)	37 (8.1%)	48 (10.8%)	2 (0.4%)	4 (0.9%)
105 (15.1%)	89 (13.5%)	7 (1.0%)	12 (1.8%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)
241 (32.4%)	199 (27.6%)	18 (2.4%)	31 (4.3%)	0 (0.0%)	6 (0.8%)
62 (9.3%)	57 (9.0%)	3 (0.5%)	3 (0.5%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)

(4) メッシュ数の推移：世帯数

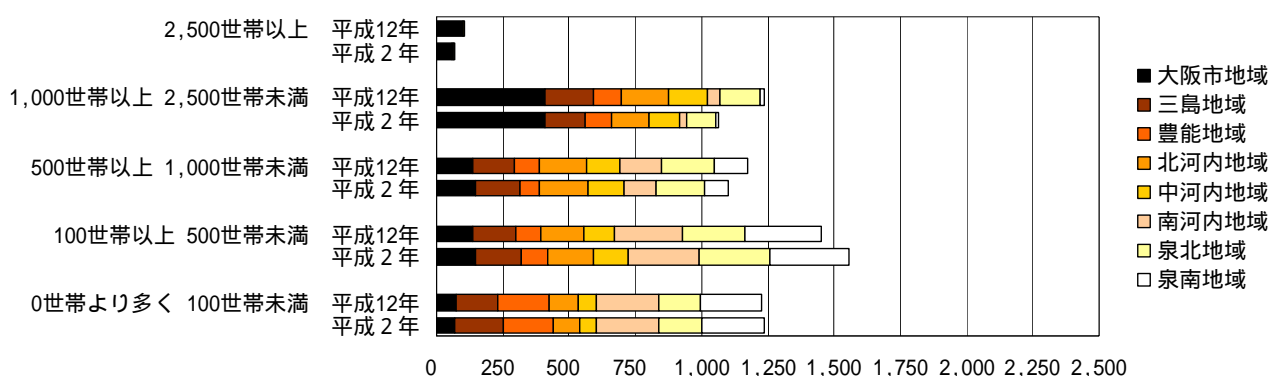
第6表（現頁及び次頁）は、平成12年及び平成2年における、大阪府内各メッシュの世帯数を5区分に分け、各区分のメッシュ数を地域ごとにまとめたものである。

第8図は各区分における地域構成の推移を、第9図は大阪府（全地域）の区分構成の推移を、第10図は各地域の区分構成の推移を、それぞれ第6表より図示したものである。

大阪府（全地域）のメッシュ数をみると、500世帯以上の区分で増加、500世帯未満の区分で減少している。世帯が存在するメッシュ数に対する割合でも、500世帯以上の区分で増加、500世帯未満の区分で減少しており、世帯密度の高まりがみてとれる。

各地域の世帯が存在するメッシュ数に対する割合をみると、「0世帯より多く 100世帯未満」区分では中河内地域等の3地域で増加し、三島地域等の5地域で減少している。「100世帯以上 500世帯未満」区分では全地域で減少している。「500世帯以上 1,000世帯未満」区分では泉南地域等の4地域で増加、中河内地域等の4地域で減少している。「1,000世帯以上 2,500世帯未満」区分では大阪市地域が減少、その他の地域では増加となっている。「2,500世帯以上」区分は大阪市地域が殆どを占め、増加分についても44メッシュのうち、39メッシュと約9割を占める。また、中河内地域は平成2年は該当メッシュなしであったが、平成12年は2メッシュが該当している。

第8図 1メッシュ内世帯数区分別 各地域のメッシュ数の推移

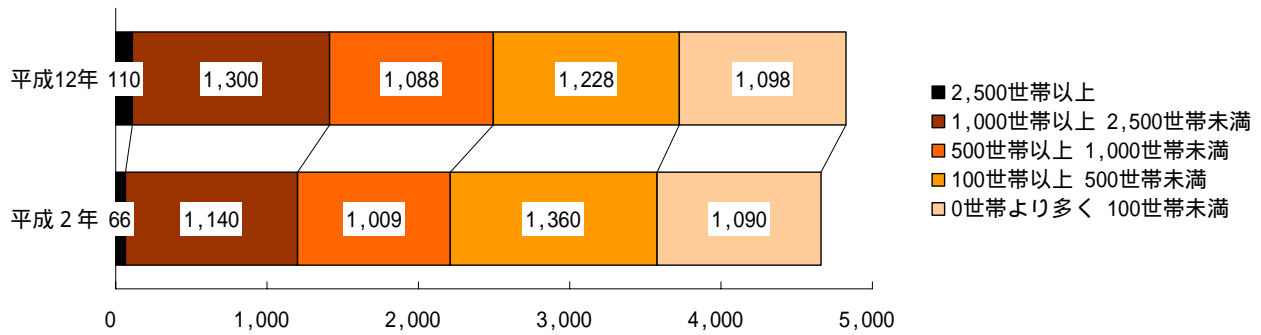


第6表 1メッシュ内世帯数区分別 メッシュ数（次頁へ続く）

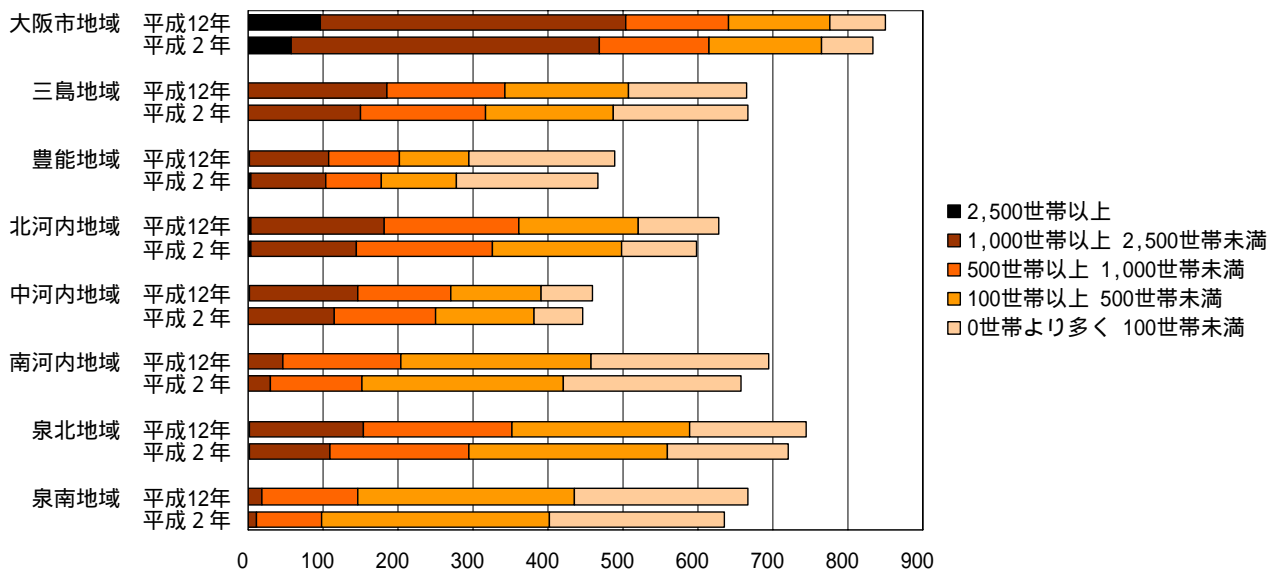
	0世帯より多く 100世帯未満		100世帯以上 500世帯未満	
	平成12年	平成2年	平成12年	平成2年
大阪府（全地域）	1,098 (22.8%)	1,090 (23.4%)	1,228 (25.5%)	1,360 (29.2%)
大阪市地域	74 (8.7%)	70 (8.4%)	136 (16.0%)	149 (17.9%)
三島地域	158 (23.8%)	179 (26.9%)	165 (24.8%)	170 (25.5%)
豊能地域	195 (39.9%)	189 (40.6%)	93 (19.0%)	99 (21.2%)
北河内地域	107 (17.1%)	101 (16.9%)	159 (25.4%)	172 (28.7%)
中河内地域	69 (15.0%)	64 (14.3%)	119 (25.9%)	132 (29.6%)
南河内地域	236 (34.0%)	236 (35.9%)	254 (36.6%)	269 (40.9%)
泉北地域	155 (20.8%)	162 (22.5%)	238 (32.0%)	265 (36.8%)
泉南地域	231 (34.7%)	235 (36.9%)	288 (43.2%)	303 (47.6%)

()内は、世帯が存在するメッシュ数に対する割合を示しています。

第9図 大阪府（全地域）の1メッシュ内世帯数区分のメッシュ数の推移



第10図 地域別 1メッシュ内世帯数区分のメッシュ数の推移



(前頁から続く)

500世帯以上 1,000世帯未満		1,000世帯以上 2,500世帯未満		2,500世帯以上	
平成12年	平成2年	平成12年	平成2年	平成12年	平成2年
1,088 (22.6%)	1,009 (21.6%)	1,300 (26.9%)	1,140 (24.4%)	110 (2.3%)	66 (1.4%)
136 (16.0%)	147 (17.6%)	407 (47.9%)	410 (49.2%)	97 (11.4%)	58 (7.0%)
157 (23.6%)	167 (25.1%)	185 (27.8%)	150 (22.5%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)
94 (19.2%)	75 (16.1%)	105 (21.5%)	100 (21.5%)	2 (0.4%)	3 (0.6%)
179 (28.5%)	181 (30.2%)	179 (28.5%)	141 (23.5%)	3 (0.5%)	4 (0.7%)
125 (27.2%)	136 (30.5%)	144 (31.4%)	114 (25.6%)	2 (0.4%)	0 (0.0%)
157 (22.6%)	122 (18.6%)	47 (6.8%)	30 (4.6%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)
198 (26.6%)	184 (25.5%)	152 (20.4%)	109 (15.1%)	1 (0.1%)	1 (0.1%)
128 (19.2%)	87 (13.7%)	19 (2.9%)	11 (1.7%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)

3 人口総数（世帯数）の増減でみる結果

(1) 平成12年の人口総数区分でみる増減

第7表（現頁及び次頁）は、平成12年の人口総数が「0人より多く1,000人未満」等の区分ごとに、大阪府内各メッシュを、人口総数が平成2年と比べて増加したメッシュ、減少したメッシュに分け、各区分のメッシュ数を地域ごとにまとめたものである。

各区分における人口総数が増加、減少したメッシュの数及び人口が存在するメッシュに対する割合について、大阪府（全地域）については第11-1図（数）及び第11-2図（割合）で、各地域については第12-1図（数）及び第12-2図（割合）で、それぞれ第7表より図示している。なお、増減なしのメッシュについては考慮していないため、割合の図における横幅は必ずしも100%ではない。

大阪府（全地域）をみると、最も人口が増加したメッシュの割合が多いのは「1,000人以上2,000人未満」区分で58.0%（533メッシュ）の増加、次いで「0人より多く1,000人未満」区分の57.5%（1,131メッシュ）の増加、「6,000人以上」区分の54.4%（37メッシュ）の増加と続いている。最も人口が減少したメッシュの割合が多いのは「4,000人以上6,000人未満」区分で63.1%（304メッシュ）の減少、次いで「2,000人以上4,000人未満」区分の54.4%（755メッシュ）の減少となっている。

各地域をみると、人口が存在する全区分において、増加したメッシュが減少したメッシュを上回っているのは南河内地域のみである。

人口密度が高い4,000人以上の区分のメッシュ数が、他地域と比較して多いのは大阪市地域、北河内地域である。最も人口密度が低い区分である「0人より多く1,000人未満」区分のメッシュ数が、他地域と比較して多いのは泉南地域及び南河内地域である。なお、「0人より多く1,000人未満」区分では、全地域で増加したメッシュが減少したメッシュを上回っている。

第7表

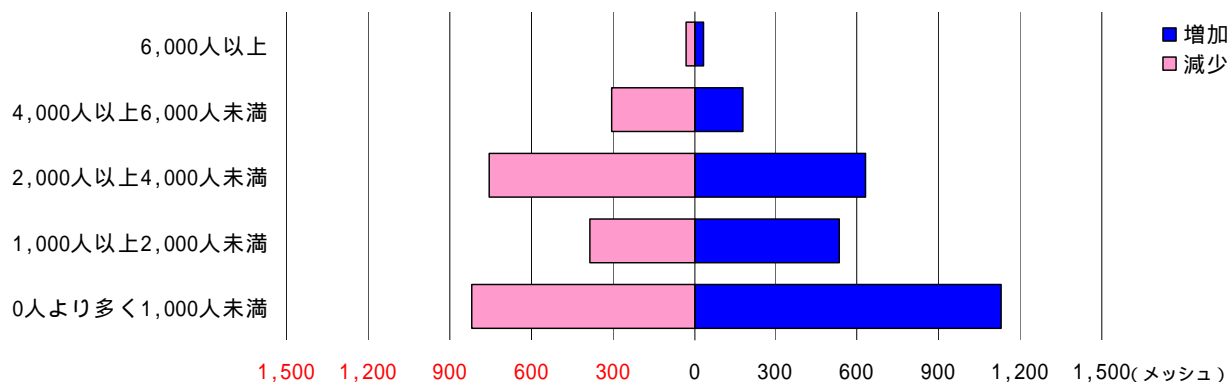
1メッシュ内人口総数区分（平成12年）別 人口総数が増減したメッシュ数（次頁へ続く）

	0人より多く 1,000人未満		1,000人以上 2,000人未満	
	増加	減少	増加	減少
大阪府（全地域）	1,131 (57.5%)	817 (41.6%)	533 (58.0%)	386 (42.0%)
大阪市地域	103 (53.9%)	85 (44.5%)	51 (44.3%)	64 (55.7%)
三島地域	157 (56.1%)	119 (42.5%)	59 (49.2%)	61 (50.8%)
豊能地域	143 (52.8%)	125 (46.1%)	41 (53.9%)	35 (46.1%)
北河内地域	146 (67.0%)	70 (32.1%)	76 (63.3%)	44 (36.7%)
中河内地域	87 (58.4%)	60 (40.3%)	48 (49.0%)	50 (51.0%)
南河内地域	243 (57.3%)	180 (42.5%)	84 (53.2%)	74 (46.8%)
泉北地域	164 (51.1%)	155 (48.3%)	91 (55.5%)	73 (44.5%)
泉南地域	264 (62.4%)	157 (37.1%)	111 (62.4%)	67 (37.6%)

()内は、各区分における、人口が存在するメッシュ数に対する割合を示しています。

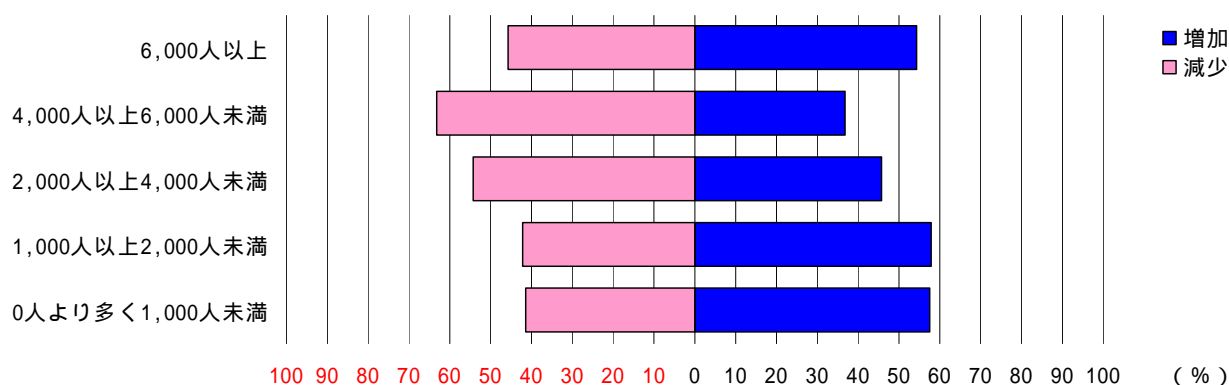
第 11 - 1 図

1メッシュ内人口総数区分（平成12年）別 大阪府（全地域）の人口総数が増減したメッシュ（数）



第 11 - 2 図

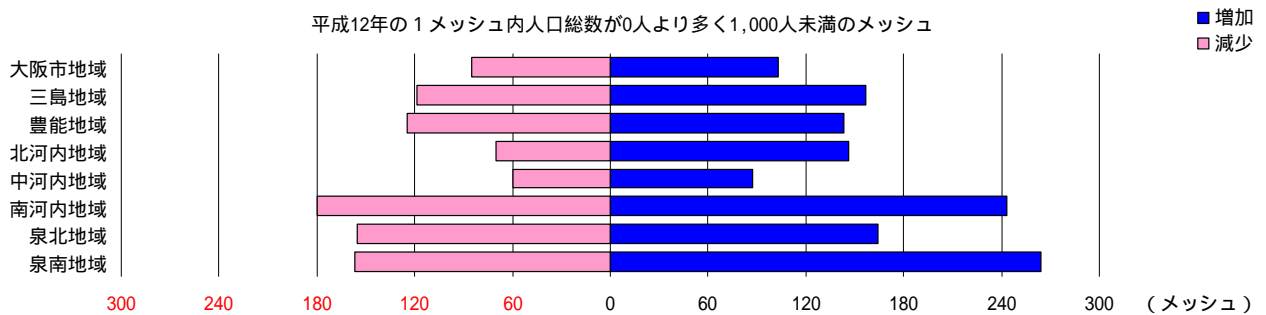
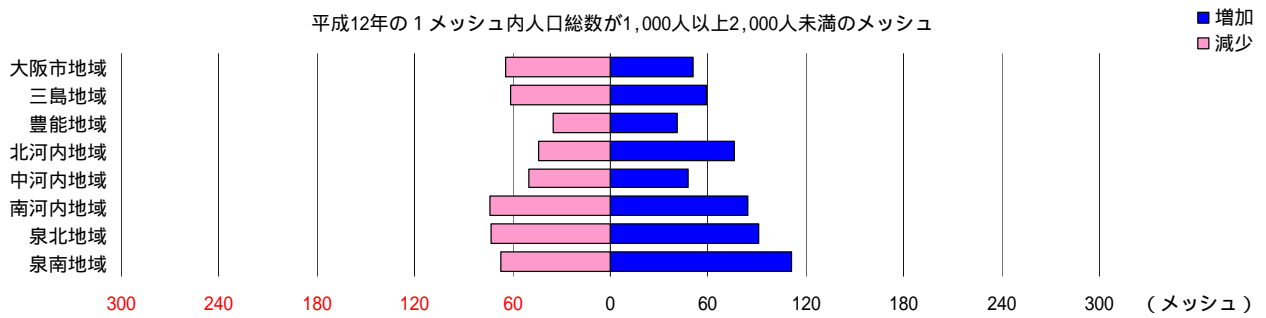
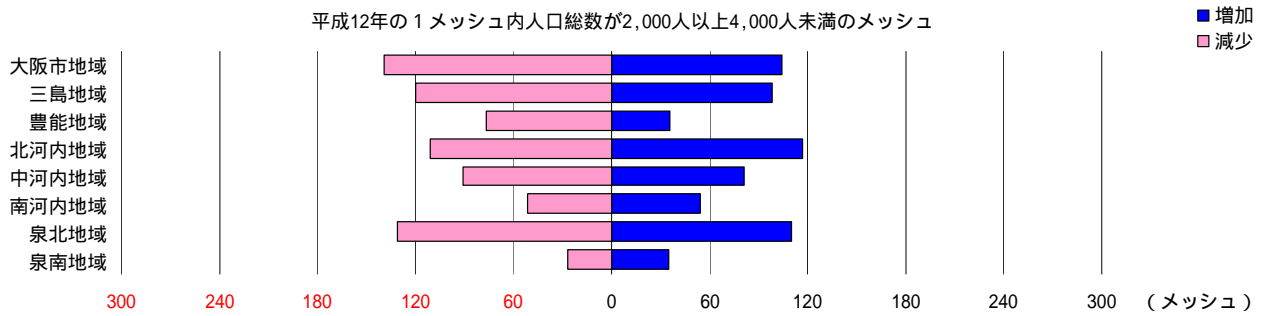
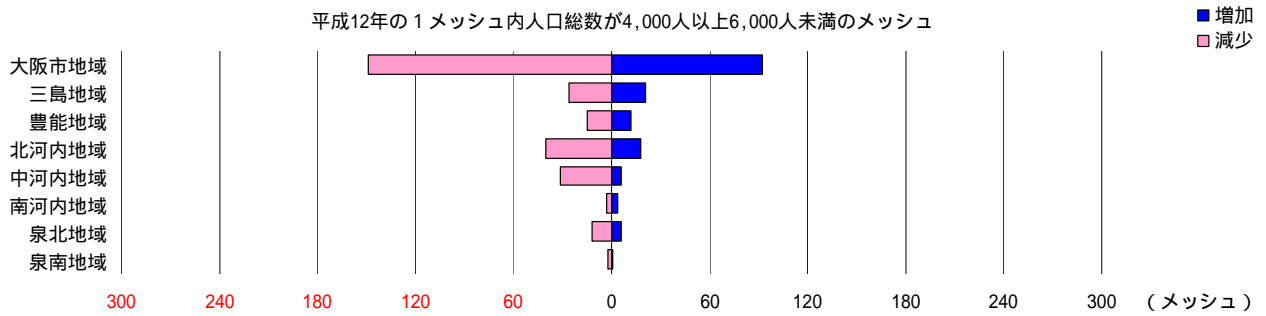
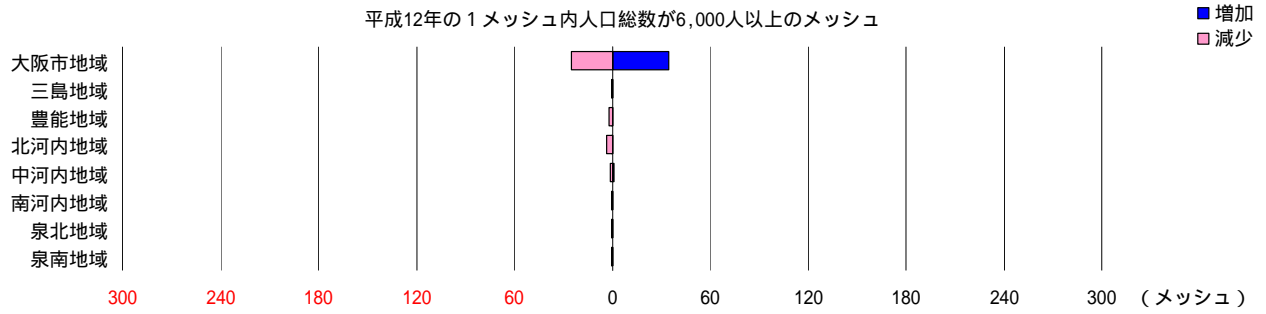
1メッシュ内人口総数区分（平成12年）別 大阪府（全地域）の人口総数が増減したメッシュ（割合）



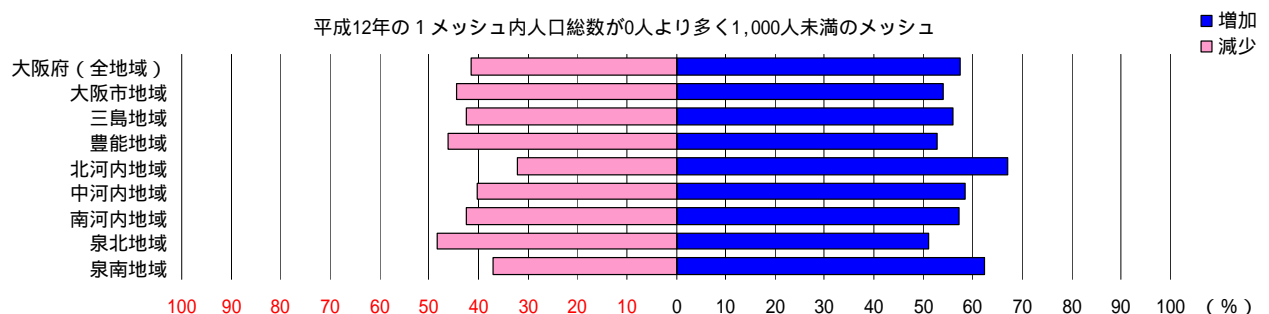
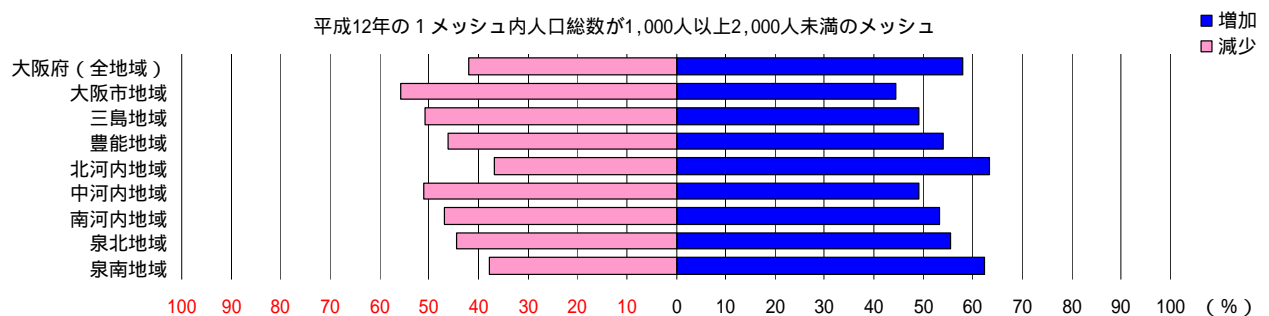
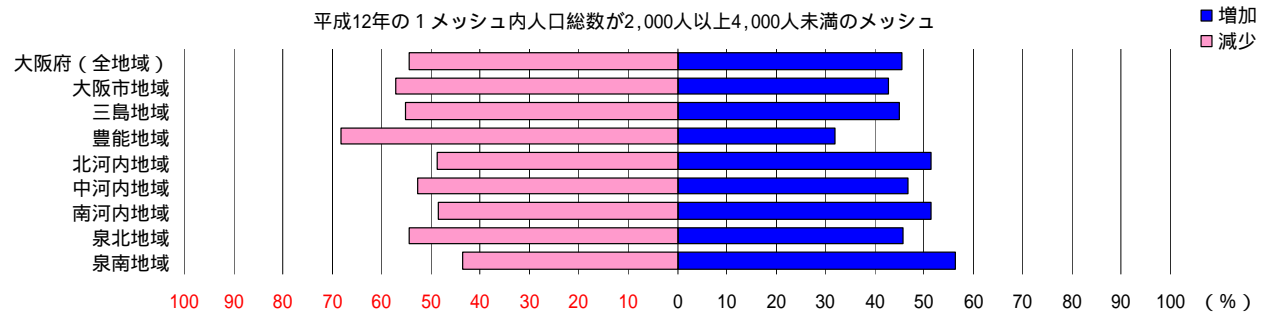
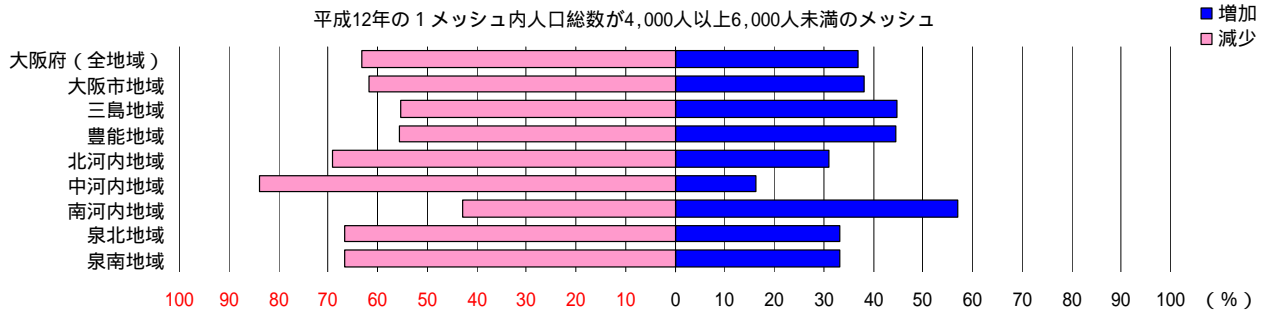
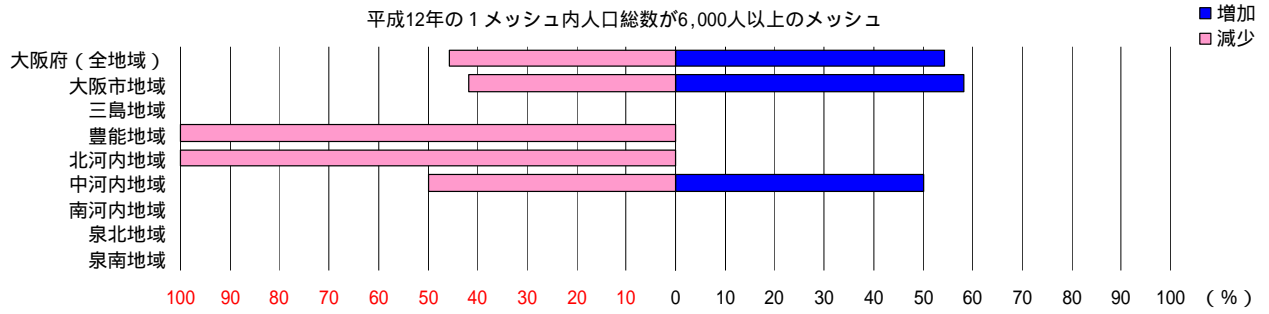
（前頁から続く）

2,000人以上 4,000人未満		4,000人以上 6,000人未満		6,000人以上	
増加	減少	増加	減少	増加	減少
633 (45.6%)	755 (54.4%)	178 (36.9%)	304 (63.1%)	37 (54.4%)	31 (45.6%)
104 (42.8%)	139 (57.2%)	92 (38.2%)	149 (61.8%)	35 (58.3%)	25 (41.7%)
98 (45.0%)	120 (55.0%)	21 (44.7%)	26 (55.3%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)
36 (31.9%)	77 (68.1%)	12 (44.4%)	15 (55.6%)	0 (0.0%)	2 100.0%
117 (51.3%)	111 (48.7%)	18 (31.0%)	40 (69.0%)	0 (0.0%)	3 100.0%
81 (46.8%)	91 (52.6%)	6 (16.2%)	31 (83.8%)	1 (50.0%)	1 (50.0%)
54 (51.4%)	51 (48.6%)	4 (57.1%)	3 (42.9%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)
110 (45.6%)	131 (54.4%)	6 (33.3%)	12 (66.7%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)
35 (56.5%)	27 (43.5%)	1 (33.3%)	2 (66.7%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)

第 12 - 1 図 1 メッシュ内人口総数区分 (平成 12 年) 別 各地域の人口総数が増減したメッシュ (数)



第 12 - 2 図 1メッシュ内人口総数区分（平成 12 年）別 各地域の人口総数が増減したメッシュ（割合）



(2) 平成 12 年の世帯数区分でみる増減

第 8 表(現頁及び次頁)は、平成 12 年の世帯数が「0 世帯より多く 100 世帯未満」等の区分ごとに、大阪府内各メッシュを、世帯数が平成 2 年と比べて増加したメッシュ、減少したメッシュに分け、各区分のメッシュ数を地域ごとにまとめたものである。

各区分における世帯数が増加、減少したメッシュの数及び世帯が存在するメッシュに対する割合について、大阪府(全地域)については第 13 - 1 図(数)及び第 13 - 2 図(割合)で、各地域については第 14 - 1 図(数)及び第 14 - 2 図(割合)で、それぞれ第 8 表より図示している。なお、増減なしのメッシュについては考慮していないため、割合の図における横幅は必ずしも 100%ではない。

大阪府(全地域)をみると、全区分において、増加したメッシュが減少したメッシュを大きく上回っており、最も増加したメッシュの割合が多いのは「500 世帯以上 1,000 世帯未満」区分で 83.0%(903 メッシュ)の増加、次いで「2,500 世帯以上」区分の 82.7%(91 メッシュ)の増加、「100 世帯以上 500 世帯未満」区分の 76.6%(941 メッシュ)の増加、「1,000 世帯以上 2,500 世帯未満」区分の 75.4%(980 メッシュ)、「0 世帯より多く 100 世帯未満」区分の 65.9%(724 メッシュ)と続いている。

各地域をみても、「2,500 世帯以上」区分以外は、増加したメッシュが減少したメッシュを大きく上回っており、「2,500 世帯以上」区分においても、約 9 割を占める大阪市地域は増加したメッシュが減少したメッシュを大きく上回っている。

世帯密度が高い 1,000 世帯以上の区分のメッシュ数が、他地域と比較して多いのは大阪市地域であり、次いで三島地域、北河内地域となっている。世帯密度が低い区分である「0 世帯より多く 100 世帯未満」区分、「100 世帯以上 500 世帯未満」のメッシュ数が、他地域と比較して多いのは泉南地域及び南河内地域である。

第 8 表

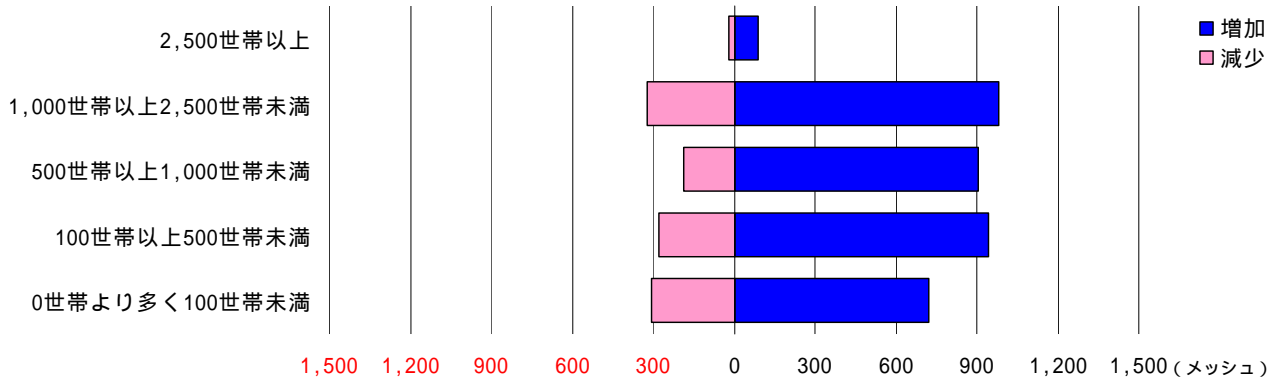
1 メッシュ内世帯数区分(平成 12 年)別 世帯数が増減したメッシュ数 (次頁へ続く)

	0世帯より多く 100世帯未満		100世帯以上 500世帯未満	
	増加	減少	増加	減少
大阪府(全地域)	724 (65.9%)	303 (27.6%)	941 (76.6%)	281 (22.9%)
大阪市地域	46 (62.2%)	23 (31.1%)	91 (66.9%)	45 (33.1%)
三島地域	112 (70.9%)	37 (23.4%)	119 (72.1%)	46 (27.9%)
豊能地域	125 (64.1%)	51 (26.2%)	68 (73.1%)	24 (25.8%)
北河内地域	78 (72.9%)	25 (23.4%)	131 (82.4%)	27 (17.0%)
中河内地域	41 (59.4%)	24 (34.8%)	94 (79.0%)	24 (20.2%)
南河内地域	153 (64.8%)	73 (30.9%)	211 (83.1%)	43 (16.9%)
泉北地域	97 (62.6%)	49 (31.6%)	175 (73.5%)	61 (25.6%)
泉南地域	160 (69.3%)	57 (24.7%)	221 (76.7%)	66 (22.9%)

()内は、各区分における、世帯が存在するメッシュ数に対する割合を示しています。

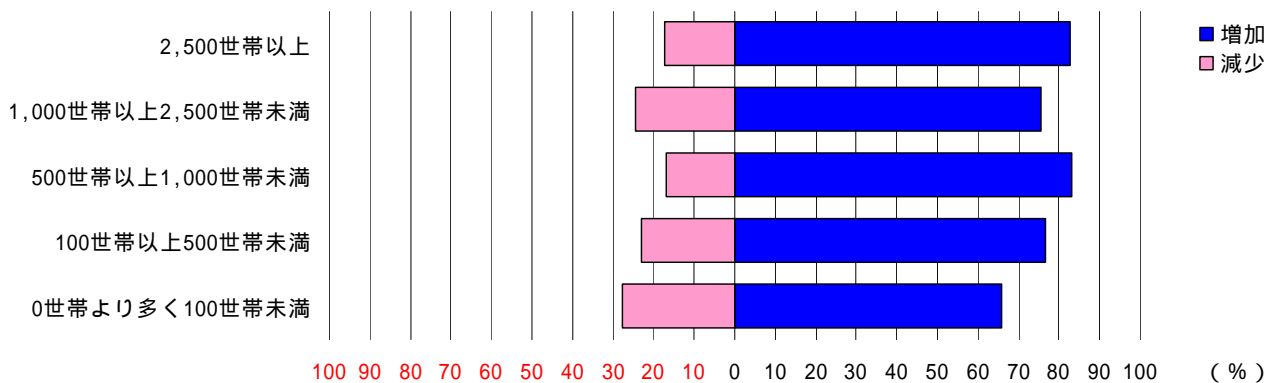
第 13 - 1 図

1メッシュ内世帯数区分（平成 12 年）別 大阪府（全地域）の世帯数が増減したメッシュ（数）



第 13- 2 図

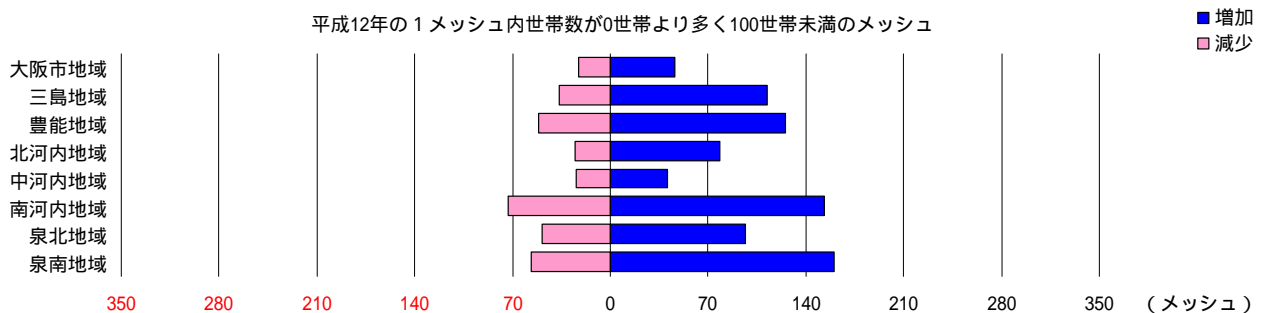
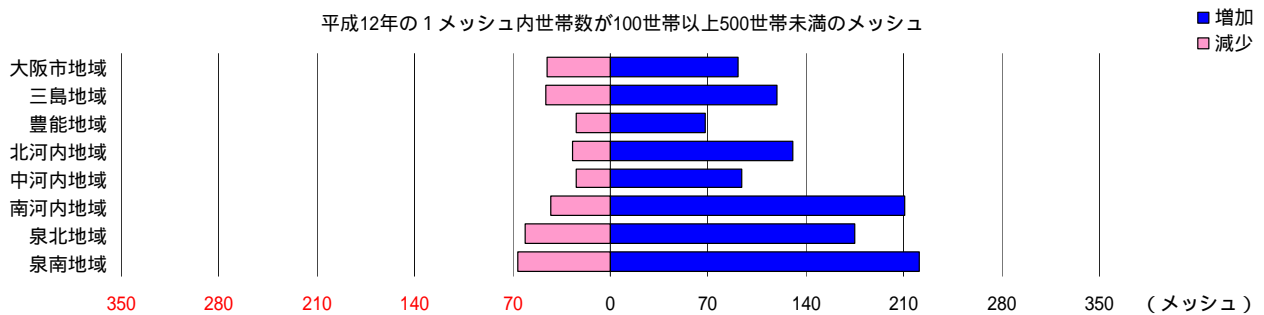
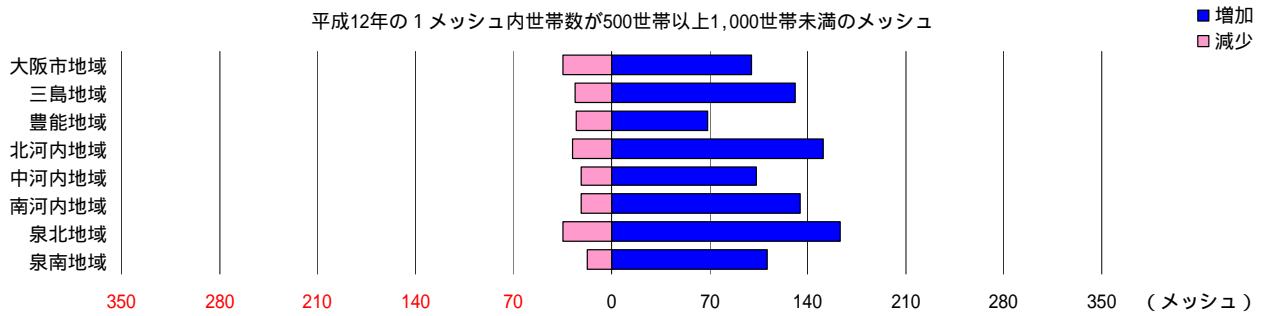
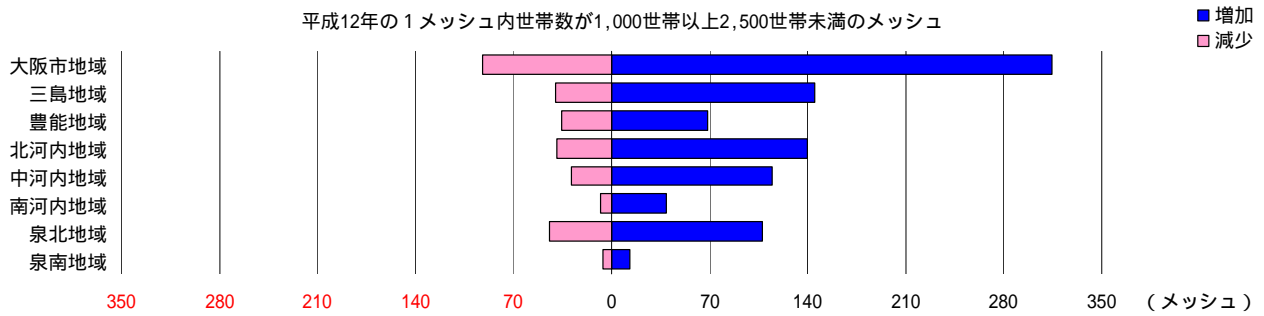
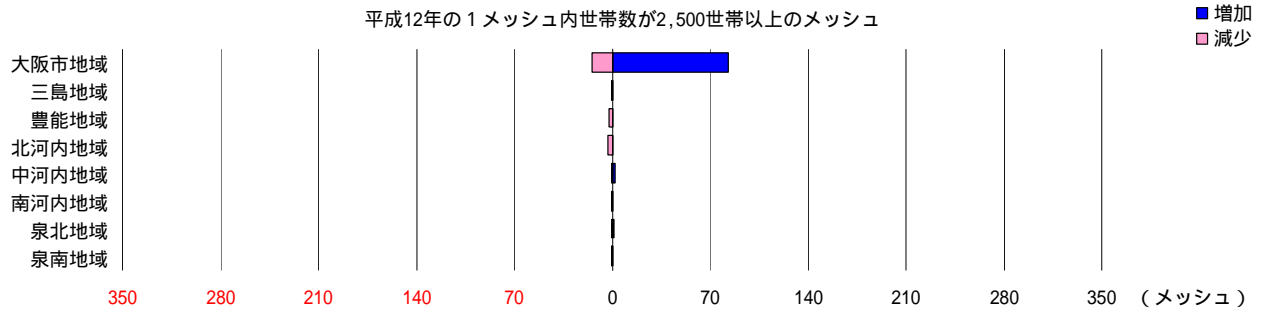
1メッシュ内世帯数区分（平成 12 年）別 大阪府（全地域）の世帯数が増減したメッシュ（割合）



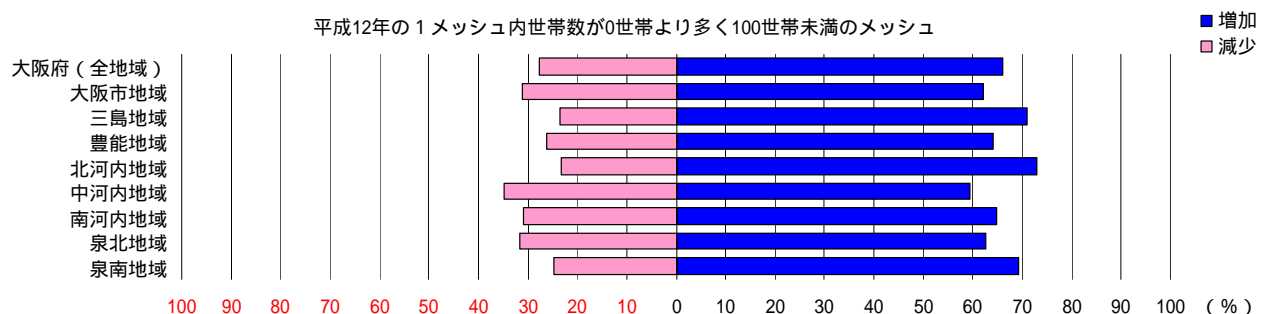
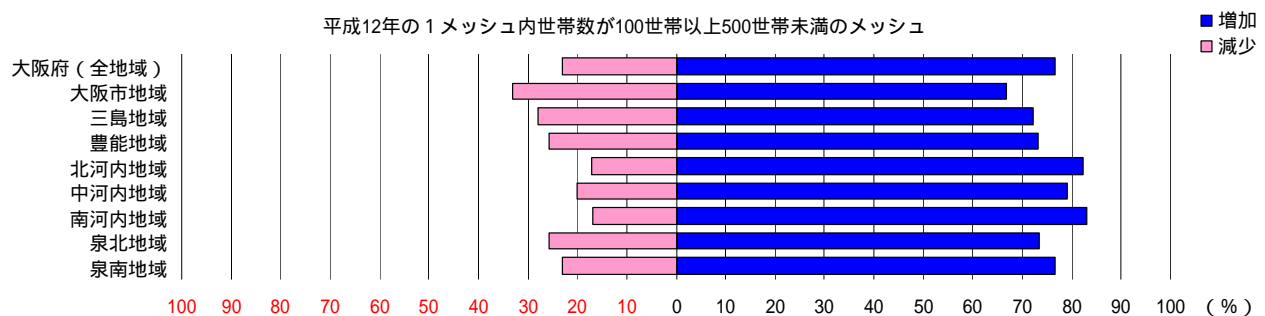
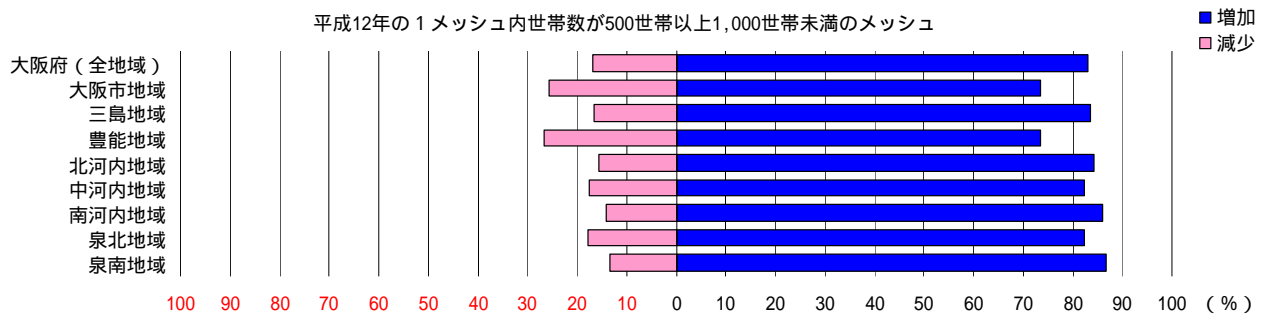
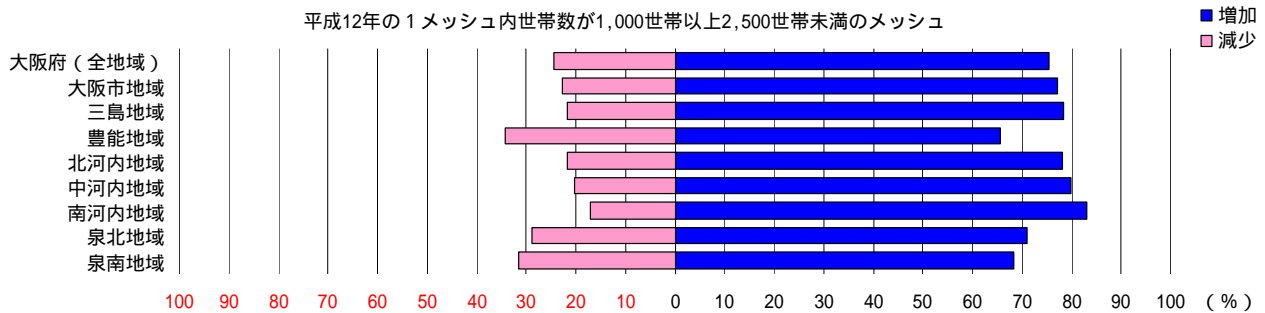
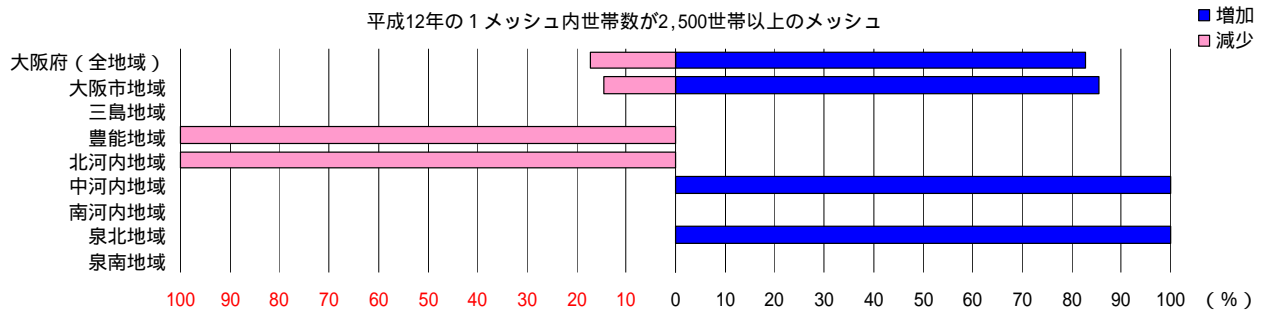
(前頁から続く)

500世帯以上 1,000世帯未満		1,000世帯以上 2,500世帯未満		2,500世帯以上	
増加	減少	増加	減少	増加	減少
903 (83.0%)	184 (16.9%)	980 (75.4%)	319 (24.5%)	91 (82.7%)	19 (17.3%)
100 (73.5%)	35 (25.7%)	314 (77.1%)	92 (22.6%)	83 (85.6%)	14 (14.4%)
131 (83.4%)	26 (16.6%)	145 (78.4%)	40 (21.6%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)
69 (73.4%)	25 (26.6%)	69 (65.7%)	36 (34.3%)	0 (0.0%)	2 100.0%
151 (84.4%)	28 (15.6%)	140 (78.2%)	39 (21.8%)	0 (0.0%)	3 100.0%
103 (82.4%)	22 (17.6%)	115 (79.9%)	29 (20.1%)	2 100.0%	0 (0.0%)
135 (86.0%)	22 (14.0%)	39 (83.0%)	8 (17.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)
163 (82.3%)	35 (17.7%)	108 (71.1%)	44 (28.9%)	1 100.0%	0 (0.0%)
111 (86.7%)	17 (13.3%)	13 (68.4%)	6 (31.6%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)

第 14 - 1 図 1メッシュ内世帯数区分（平成12年）別 各地域の世帯数が増減したメッシュ（数）



第 14 - 2 図 1メッシュ内世帯数区分（平成 12 年）別 各地域の世帯数が増減したメッシュ（割合）



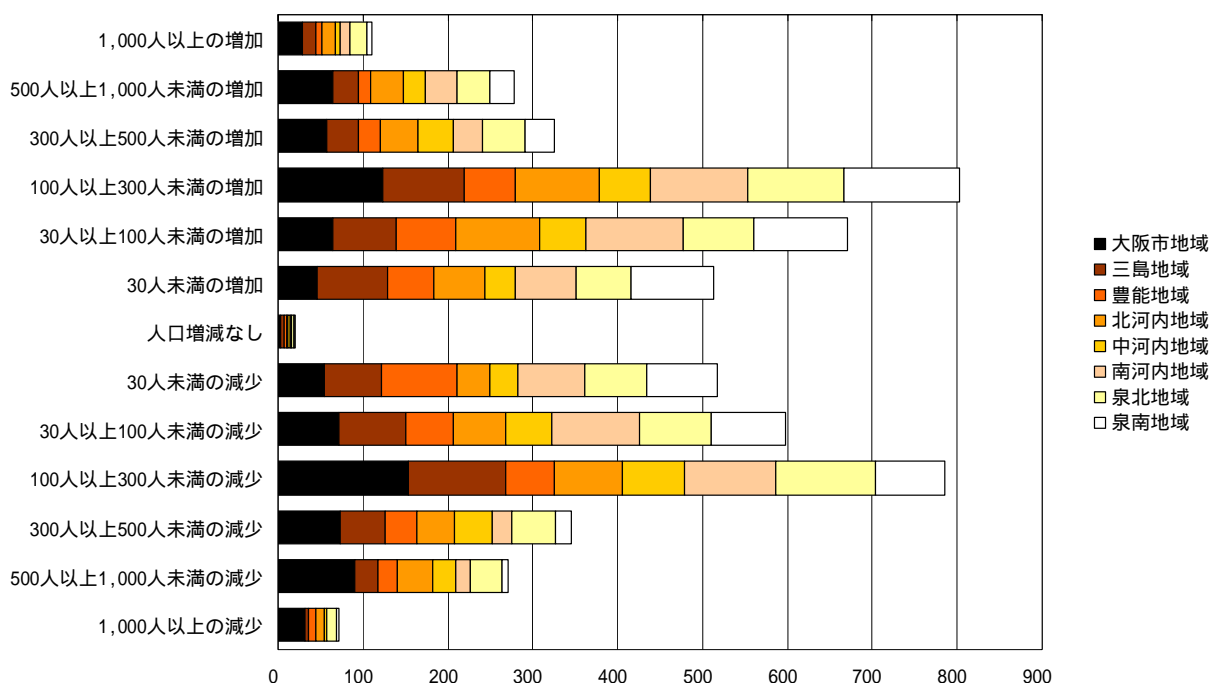
(3) 平成2年からの人口総数増減区分でみる増減

第9表(現頁及び次頁)は、平成12年の人口総数について、大阪府内のメッシュごとに、平成2年からの増減数を「30人未満」「30人以上100人未満」「100人以上300人未満」「300人以上500人未満」「500人以上1,000人未満」「1,000人以上」の増加及び減少に「人口増減なし」を加えた13区分に分け、各区分のメッシュ数を地域ごとにまとめたものである。

第15図は、各区分における地域構成を、第16図は大阪府(全地域)の区分構成を、第17図は各地域の区分構成を、それぞれ第9表より図示したものである。

大阪府(全地域)をみると、「100人以上300人未満の増加」区分の割合が最も高く、15.3%(755メッシュ)を占めている。次いで、「100人以上300人未満の減少」区分の14.4%(711メッシュ)となっている。

第15図 1メッシュ内人口総数増減区分別 各地域のメッシュ数

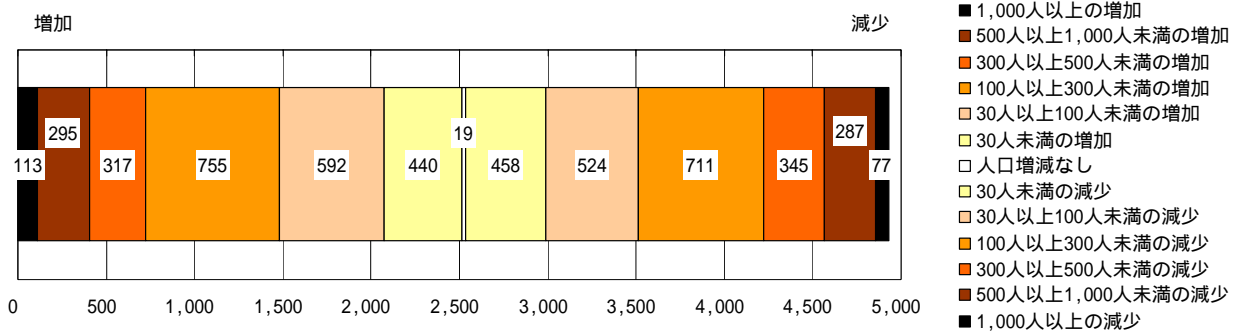


第9表 1メッシュ内人口総数増減区分別 メッシュ数 (次頁へ続く)

	人口が減少したメッシュ					
	1,000人以上	500人以上 1,000人未満	300人以上 500人未満	100人以上 300人未満	30人以上 100人未満	30人未満
大阪府(全地域)	77 (1.6%)	287 (5.8%)	345 (7.0%)	711 (14.4%)	524 (10.6%)	458 (9.3%)
大阪市地域	31 (3.6%)	90 (10.5%)	73 (8.5%)	153 (17.8%)	71 (8.2%)	55 (6.4%)
三島地域	5 (0.7%)	28 (4.1%)	53 (7.7%)	115 (16.8%)	79 (11.5%)	67 (9.8%)
豊能地域	9 (1.8%)	22 (4.3%)	38 (7.5%)	57 (11.2%)	57 (11.2%)	89 (17.6%)
北河内地域	9 (1.4%)	42 (6.6%)	44 (7.0%)	80 (12.6%)	61 (9.6%)	38 (6.0%)
中河内地域	3 (0.6%)	27 (5.8%)	44 (9.5%)	74 (16.0%)	54 (11.7%)	34 (7.4%)
南河内地域	0 (0.0%)	18 (2.5%)	23 (3.2%)	107 (15.0%)	103 (14.4%)	78 (10.9%)
泉北地域	12 (1.6%)	37 (4.9%)	52 (6.9%)	118 (15.7%)	85 (11.3%)	73 (9.7%)
泉南地域	2 (0.3%)	7 (1.0%)	18 (2.6%)	81 (11.7%)	87 (12.6%)	83 (12.0%)

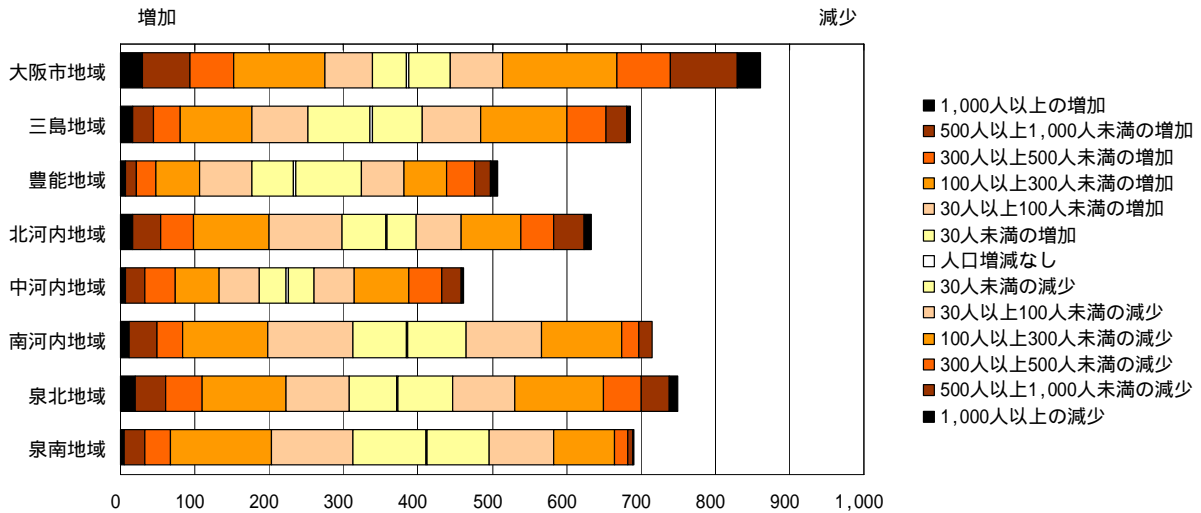
()内は、人口が存在するメッシュ数に対する割合を示しています。

第 16 図 大阪府（全地域）の 1 メッシュ内人口総数増減区分のメッシュ数



左側は人口総数が増加したメッシュを、右側は減少したメッシュを示しています。

第 17 図 地域別 1 メッシュ内人口総数増減区分のメッシュ数



図内各棒において、左側は人口総数が増加したメッシュを、右側は減少したメッシュを示しています。

(前頁から続く)

人口増減なし のメッシュ	人口が増加したメッシュ							合計
	30人未満	30人以上 100人未満	100人以上 300人未満	300人以上 500人未満	500人以上 1,000人未満	1,000人以上		
19 (0.4%)	440 (8.9%)	592 (12.0%)	755 (15.3%)	317 (6.4%)	295 (6.0%)	113 (2.3%)	4,933	
3 (0.3%)	46 (5.3%)	64 (7.4%)	123 (14.3%)	58 (6.7%)	65 (7.5%)	29 (3.4%)	861	
4 (0.6%)	83 (12.1%)	75 (10.9%)	96 (14.0%)	36 (5.2%)	29 (4.2%)	16 (2.3%)	686	
3 (0.6%)	55 (10.8%)	70 (13.8%)	60 (11.8%)	26 (5.1%)	15 (3.0%)	6 (1.2%)	507	
2 (0.3%)	59 (9.3%)	99 (15.6%)	100 (15.8%)	45 (7.1%)	38 (6.0%)	16 (2.5%)	633	
3 (0.6%)	36 (7.8%)	54 (11.7%)	59 (12.8%)	42 (9.1%)	26 (5.6%)	6 (1.3%)	462	
1 (0.1%)	72 (10.1%)	115 (16.1%)	115 (16.1%)	34 (4.8%)	37 (5.2%)	12 (1.7%)	715	
2 (0.3%)	64 (8.5%)	84 (11.2%)	113 (15.1%)	50 (6.7%)	40 (5.3%)	20 (2.7%)	750	
2 (0.3%)	98 (14.2%)	110 (15.9%)	136 (19.7%)	34 (4.9%)	28 (4.1%)	5 (0.7%)	691	

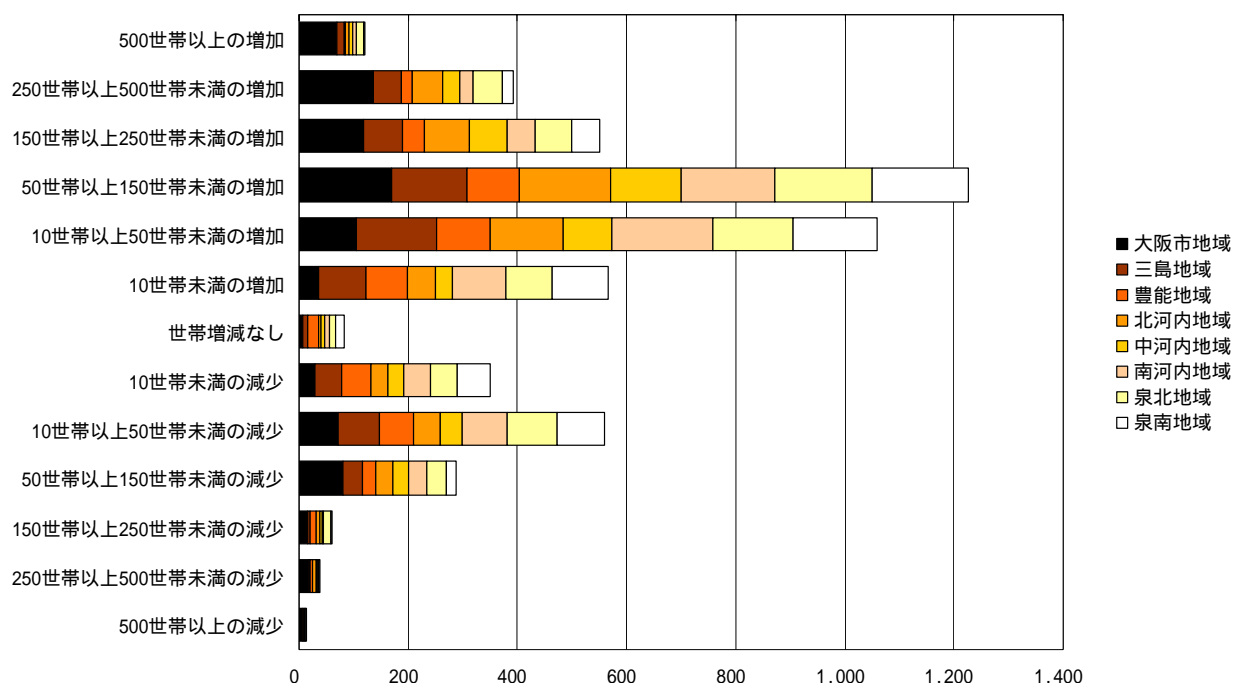
(4) 平成2年からの世帯数増減区分でみる増減

第10表(現頁及び次頁)は、平成12年の世帯数について、大阪府内のメッシュごとに、平成2年からの増減数を「10世帯未満」「10世帯以上 50世帯未満」「50世帯以上 150世帯未満」「150世帯以上 250世帯未満」「250世帯以上 500世帯未満」「500世帯以上」の増加及び減少に「世帯増減なし」を加えた13区分に分け、各区分のメッシュ数を地域ごとにまとめたものである。

第18図は、各区分における地域構成を、第19図は大阪府(全地域)の区分構成を、第20図は各地域の区分構成を、それぞれ第10表より図示したものである。

大阪府(全地域)をみると、「50世帯以上 150世帯未満の増加」区分の割合が最も高く、23.3%(1,150メッシュ)を占めている。減少の区分に限定すると、「10世帯以上 50世帯未満の減少」区分の割合が最も高く、10.4%(513メッシュ)となっている。

第18図 1メッシュ内世帯数増減区分別 各地域のメッシュ数

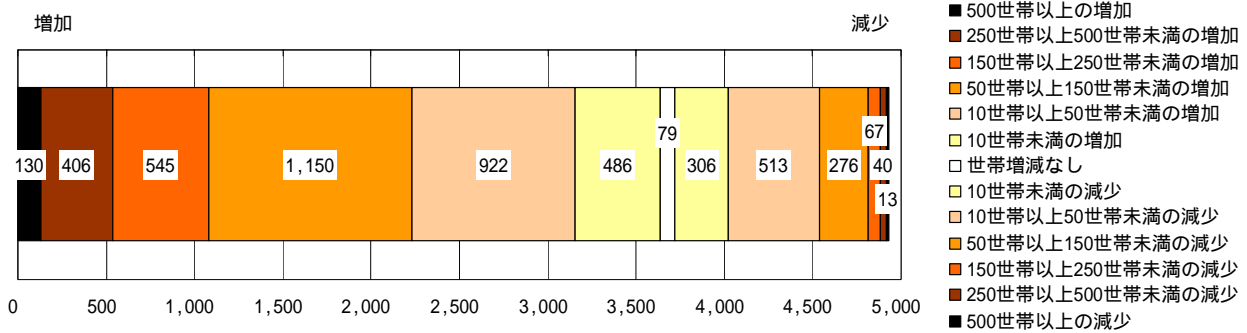


第10表 1メッシュ内世帯数増減区分別 メッシュ数 (次頁へ続く)

	世帯が減少したメッシュ					
	500世帯以上	250世帯以上 500世帯未満	150世帯以上 250世帯未満	50世帯以上 150世帯未満	10世帯以上 50世帯未満	10世帯未満
大阪府(全地域)	13 (0.3%)	40 (0.8%)	67 (1.4%)	276 (5.6%)	513 (10.4%)	306 (6.2%)
大阪市地域	6 (0.7%)	18 (2.1%)	15 (1.7%)	80 (9.3%)	71 (8.2%)	30 (3.5%)
三島地域	1 (0.1%)	1 (0.1%)	6 (0.9%)	37 (5.4%)	76 (11.1%)	49 (7.1%)
豊能地域	2 (0.4%)	6 (1.2%)	10 (2.0%)	23 (4.5%)	62 (12.2%)	53 (10.5%)
北河内地域	2 (0.3%)	7 (1.1%)	8 (1.3%)	31 (4.9%)	49 (7.7%)	31 (4.9%)
中河内地域	0 (0.0%)	1 (0.2%)	3 (0.6%)	29 (6.3%)	41 (8.9%)	28 (6.1%)
南河内地域	0 (0.0%)	0 (0.0%)	2 (0.3%)	33 (4.6%)	83 (11.6%)	49 (6.9%)
泉北地域	1 (0.1%)	3 (0.4%)	15 (2.0%)	36 (4.8%)	90 (12.0%)	50 (6.7%)
泉南地域	1 (0.1%)	2 (0.3%)	1 (0.1%)	18 (2.6%)	88 (12.7%)	61 (8.8%)

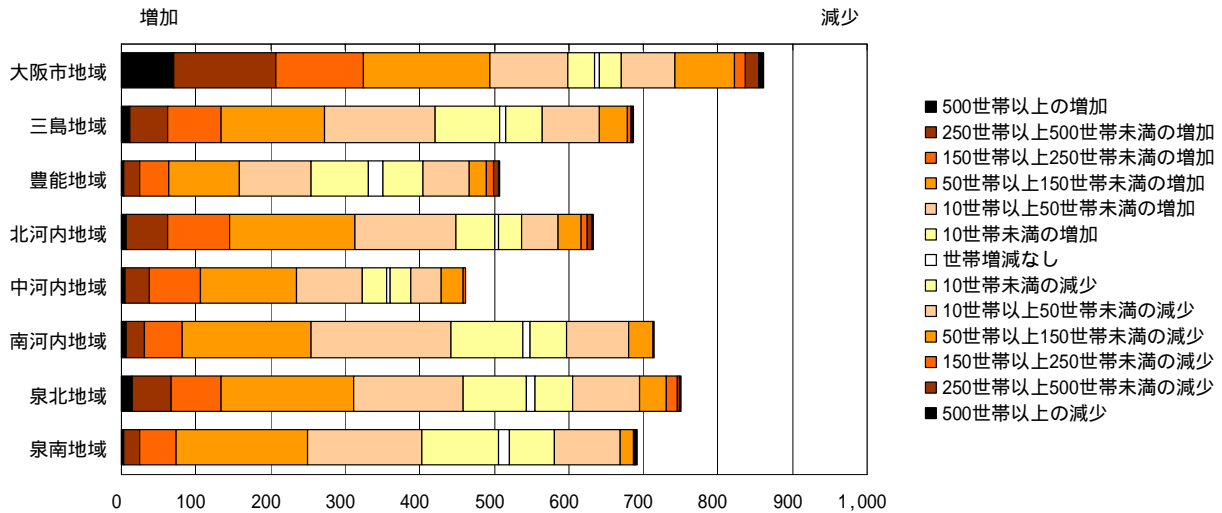
()内は、世帯が存在するメッシュ数に対する割合を示しています。

第 19 図 大阪府（全地域）の 1 メッシュ内世帯数増減区分のメッシュ数



左側は世帯数が増加したメッシュを、右側は減少したメッシュを示しています。

第 20 図 地域別 1 メッシュ内世帯数増減区分のメッシュ数



図内各棒において、左側は世帯数が増加したメッシュを、右側は減少したメッシュを示しています。

(前頁から続く)

世帯増減なし のメッシュ	世帯が増加したメッシュ							合計
	10世帯未満	10世帯以上 50世帯未満	50世帯以上 150世帯未満	150世帯以上 250世帯未満	250世帯以上 500世帯未満	500世帯以上		
79 (1.6%)	486 (9.9%)	922 (18.7%)	1,150 (23.3%)	545 (11.0%)	406 (8.2%)	130 (2.6%)	4,933	
7 (0.8%)	36 (4.2%)	104 (12.1%)	169 (19.6%)	118 (13.7%)	137 (15.9%)	70 (8.1%)	861	
9 (1.3%)	86 (12.5%)	148 (21.6%)	139 (20.3%)	72 (10.5%)	50 (7.3%)	12 (1.7%)	686	
20 (3.9%)	76 (15.0%)	97 (19.1%)	95 (18.7%)	39 (7.7%)	21 (4.1%)	3 (0.6%)	507	
5 (0.8%)	52 (8.2%)	135 (21.3%)	167 (26.4%)	84 (13.3%)	55 (8.7%)	7 (1.1%)	633	
5 (1.1%)	32 (6.9%)	88 (19.0%)	129 (27.9%)	69 (14.9%)	32 (6.9%)	5 (1.1%)	462	
10 (1.4%)	96 (13.4%)	187 (26.2%)	173 (24.2%)	51 (7.1%)	24 (3.4%)	7 (1.0%)	715	
11 (1.5%)	86 (11.5%)	147 (19.6%)	177 (23.6%)	67 (8.9%)	53 (7.1%)	14 (1.9%)	750	
15 (2.2%)	102 (14.8%)	153 (22.1%)	176 (25.5%)	50 (7.2%)	21 (3.0%)	3 (0.4%)	691	